

自治労は、全国の県庁、市役所、町村役場、一部事務組合などの地方自治体で働く職員によって結成された労働組合です。公社・事業団、自治体事業を受託している民間企業などで働く労働者も多数組織しています。日本全国各地の2,737単組、約90万人の組合員（2009年1月現在）が参加しています。

自治労に加盟する組合を単位組合（単組）といいます。都道府県、市町村および公共サービスに関わる職場ごとに、働いている人たちが一つの組合をつくりまします。自治労は単組の連合体なのです。

全国各地の単組をまとめているのが、日本全国47都道府県に置かれた県本部です。県本部は、県内の自治労加盟の単組で構成され、運営されています。

47都道府県本部の活動を助け、地方の課題について共同した取り組みや連絡調整を行う組織が、地区連絡協議会（地連）です。全国を9の地区に分け（北海道・東北・関東甲・北信・東海・近畿・中国・四国・九州）、地区ごとに事務局が設置されています。

47都道府県本部・9地連と連携し、諸課題を全国レベルで解決し、運動を推進する役割を担っているのが自治労中央本部です。

地公三単産（自治労、都市交、全水道）の完全統合をめざし、過渡的組織として三単産の連合体である地域公共連合を2007年9月に結成しました。現在、中央段階における連合加盟は、地域公共連合に一本化されています。

